

平成26年度事務事業評価調書

整理番号	9	枝番	1
評価担当課	市民部環境生活課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	名寄市環境衛生推進員協議会分別指導			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	無	主要施策	2	循環型社会の形成
		基本事業	3	環境美化の推進
		実施計画事業	1	分別排出の指導

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	処分場へ持ち込まれたごみの分別指導			
対象(何を又は誰を)	処分場へごみを持ち込んだ搬入者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	分別指導を行うことにより、適正なごみの排出方法が出来る			
意図(どのような成果を期待しているか)	適正なごみ排出による資源ごみ等の増によるリサイクル率の向上			
事業実施主体	名寄市環境衛生推進員協議会			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
事業実施期間	始期	22年度	終期設定	有(終期年度)
根拠法令・条例等	名寄市廃棄物の減量及び処理に関する条例施行規則			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H23	H24	H25	H26見込	目標年度 (H26年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 分別指導日数	日	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12	-	
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
成果指標	1	目標						
		実績						
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H23決算	H24決算	H25決算	H26予算	平成25年度の事業費内訳
事業費	744	744	744	674	名寄市環境衛生推進員協議会活動交付金
国道支出金					活動交付金 600千円
地方債					分別指導 144千円
その他					
一般財源	744	744	744	674	
人件費	1,671	1,657	1,617	1,617	
平均給与額	6,683	6,629	6,468	6,468	
担当職員数	0.25	0.25	0.25	0.25	
総事業費	2,415	2,401	2,361	2,291	
対前年比(%)	-	99	98	97	コストの算出方法
事業コスト	144	144	144	144	1日×3,000円×3日間×4回×4名
活動指標1					
活動指標2					
活動指標3					

※H26年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 <input checked="" type="radio"/> 有 () <input type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 4 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	総合計画での実施計画事業であることや、廃棄物の分別について市として引き続き指導を行う必要がある。また、名寄市環境衛生推進員協議会との一層の積極的な関わりが必要と考える。
有効性 3 目的を達成するための方法として有効か？	b	処分場でのごみ分別指導は排出者に直接指導できる事業であり有効な手段である。
効率性 4 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	分別指導の経費は補助金であり、コスト削減は困難である。類似事業も無く、統廃合する事業はない。
公平性 3 受益者負担は適正か、受益者に偏りがなかい？	b	ボランティア袋配付は各団体内での配付方法が異なっており、各団体のルールで行っている。団体内での配付方法は統一できるものではないが、必要な方へ配付されている。
達成度 4 活動指標、成果指標の達成度は？	a	分別指導日数は目標どおり達成されていることや、ボランティア袋配付団体数及びボランティア袋配付数が概ね達成されている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	ごみの減量化・リサイクルの推進は名寄市にとってはとても重要な課題である。ここ数年の目標はクリアしており、分別指導は今後も継続していく必要がある。ボランティア袋の配付についても、活動団体数等で目標値を概ねクリアしており、順調に推移している。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し		
D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	今後も協議会との連携のもと継続していく必要がある。

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり